



# 学校だより 10月号

石川小学校 学校教育目標  
育てます。「石川魂」

令和3年9月30日  
横浜市立石川小学校  
校長 寺園 淳

## 石川魂、あらわる

校長 寺園 淳

朝夕の涼しさに秋を感じる季節になりました。地域ごとにまとまって登校する、分散登校による教育活動が再開されおよそ一か月が過ぎようとしています。授業中に教室を巡回しても子どもたちの少なさにどこか寂しさを感じます。保護者の皆様には教育活動の再開にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。子どもたちの集団生活に感染症拡大の不安をお感じのことと存じますが、石川小学校では今まで以上に感染症予防に向けて取り組んで参ります。

長引くコロナ禍の影響もあり、私たちの生活スタイルも変化を見せています。仕事の都合上、在宅勤務の方や生活時間帯が小学生とは異なる方もいらっしゃいます。その中で本校では、「思いやりの会釈」を指導しています。特に生活時間の異なる方に配慮し、町中では大きな声を出す挨拶ではなく、笑顔で会釈することを進めています。ただし、校内ではいつものように元気のよい挨拶が聞かれ、私は元気をもらっています。

感染症対策では手洗い、うがい、手指消毒、黙食、換気が重要なポイントになると考えます。中でも唯一マスクを外す食事の時間が要注意です。昼食の様子を見て回ろうと2階へと昇って行きました。2階は低学年の教室です。どの教室を覗いても全く声が聞こえないのです。それは3階、4階の教室も同様の光景でした。静まり返った学校は、まるで人が誰もいないのではないかと錯覚するくらいでした。子ども一人ひとりが決められた感染症対策をしっかりと実行していました。

子どもたちの多くが楽しみにしている休み時間も同様に、感染症対策が必要です。休み時間の定番の遊びといえはおにごっこです。しかしおにごっこは、直接相手にタッチをしなければなりません。そこで、子どもたちが考えたのは背中側にひも状のものを挟み、それを取り合うしっぽ取りおにごっこです。これならば接触しなくて済みます。中でも4年1組では、様々な言葉を書いたカードを用意し、それを背中に張り付け、おにはその言葉を読み上げるのだそうです。ルールも自分たちで考え、楽しんでいました。

10月に体験学習（本年度は日帰り）を控えた5年生は、その準備を実行委員が中心となり始めています。しかし、分散登校のため全実行委員が集まることができません。そこで5年生はオンラインによる実行委員会の実施を提案してきました。岡村教諭が実施の許可を私に求めてきたので、もちろん快諾しました。子ども自身、今できることを考え、前に進もうとしています。

これらの子どもの姿が全て「石川魂」のあらわれだと考えます。最後まであきらめずに、仲間と協働し、自分たちの思いを実現する。こんな素敵な子どもたちを、これからも教職員一同で育てて参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

見守り隊創設の頃よりご協力いただいている 田中 伸雄 様が、ご都合により見守り活動をご卒業されます。長年にわたり、子どもたちを温かく見守っていただいたことに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、見守り隊の活動にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、学校までご一報いただくと幸いです。 石川小学校 電話 261-0743